第２講　大和時代Ⅰ

１　古墳（こふん）文化（３世紀後半～７世紀）

①古墳文化の特色

A　中国大陸・朝鮮半島の文化が，**渡来人**（とらいじん）〔帰化人（きかじん）〕により伝来（でんらい）。

B　弥生文化から引き継（つ）がれた，日本独自の文化も形成される。

C　住居など，豪族と一般民衆の生活に違いがみられはじめる。

---

②古墳の変遷（へんせん）⇒前期・中期・後期の三期に区分

A　前期（３世紀後半～４世紀後半）

畿内（きない）・西日本を中心に，**前方後円墳**（ぜんぽうこうえんふん）・前方後方墳・円墳・方墳などが築造（ちくぞう）される。

表面には葺石（ふきいし）や**埴輪**（はにわ）〔**円筒**（えんとう）**埴輪**・形象（けいしょう）埴輪〕が並べられ，**竪穴式石室**や**粘土**（ねんど）**槨**（かく）内には，銅鏡（三角縁（ぶち）神獣鏡など），腕輪型石製品（鍬形石（くわがたせき）・車輪石など），勾玉（まがたま）・管玉（くだたま）などの**呪術的・宗教的な副葬品**が出土する（＝**被葬者の司祭者**（しさいしゃ）**的性格**を表す）。

☆椿井（つばい）大塚山（京都府），**箸墓**（はしはか），黒塚（くろづか）（**奈良県**）など。

B　**中期**（４世紀末～**５世紀**）

畿内の平野部で前方後円墳が巨大化。周囲に濠（ほり）や陪冢（ばいちょう）（＝従属的な小型古墳）を形成。古墳築造は上毛野（かみつけの）（群馬県），丹後（京都府），**吉備**（きび）**（岡山県）**，**出雲**（いずも）**（島根県）**，筑紫（つくし）（福岡県）など全国に拡大した。表面には葺石や埴輪〔円筒埴輪・**形象埴輪**〕が並べられ，竪穴式石室や粘土槨内には，鉄製武器・甲（かっ）冑（ちゅう）・馬具・冠（かんむり）などの**軍事的な副葬品**が出土する（＝**被葬者の武人的性格**を表す）。

☆太田天神山（群馬県），**大仙陵**（だいせんりょう）〔**仁徳**（にんとく）**天皇陵？⇒百舌鳥**（もず）**古墳群，世界最大規模**〕，**誉田御廟山**（こんだごびょうやま）〔**応神天皇陵？**⇒古市（ふるいち）古墳群〕**（大阪府）**，五色塚（ごしきづか）（兵庫県），造山（つくりやま）（岡山県，吉備氏の墓），男狭穂塚（おさほづか）〔西都原（さいとばる）古墳群〕（宮崎県）など。

C　後期（６～７世紀）

見瀬丸山古墳（奈良県）など畿内では依然として巨大前方後円墳が築造されるが，他地域にはみられなくなった。そして，各地に**小規模化**した円墳や横穴墓が大量に登場する（＝**築造者は有力豪族から有力農民へと拡大**）。**朝鮮半島から伝来した，家族墓的性格の横穴式石室**（羨門・羨道と玄室を備える）が一般化し，武器などの他に大量の土器・農具・工具など，**日常生活用の副葬品が増加**した（＝古墳を死後の生活の場と考える）。

あ　**群集墳**の登場

岩橋千塚（和歌山県），**新沢千塚（奈良県）**，**吉見百穴（埼玉県）**など。

い　**装飾古墳**の登場

高松塚，キトラ（奈良県），**竹原**，王塚**（福岡県）**など。

う　その他の後期・終末期古墳

石舞台〔蘇我馬子の墓？〕，藤ノ木（奈良県），岩戸山（福岡県，磐井の墓？）など。

D　**古墳の消滅**（７世紀後半）

あ　大王中心の政治制度の整備（646年，大化の薄葬令）

※７世紀中ごろから，大王の墓は**八角墳**になる。

い　仏教思想の流入による火葬の普及

う　**豪族の権威誇示の手段が古墳築造から寺院〔氏寺〕建立へと変化**

③渡来人と大陸文化

A　応神朝（４世紀末～５世紀初頭）の**渡来人**伝説

王仁（**西文氏**の祖，漢字を伝える），**阿知使主**（**東漢氏**の祖），**弓月君**（**秦氏**の祖，養蚕・機織技術を伝える）など。

B　**品部**の活躍

錦織部（高級織物），**韓鍛冶部**（冶金），**陶部**（須恵器），土師部（土師器），鞍作部（馬具），玉造部（勾玉・管玉），**史部**（**文筆**）など。

C　**漢字の使用**⇒日本語表記の始まり

あ　石上神宮所蔵七支刀銘（奈良県）

☆４世紀後半？に百済の王から贈られたもの。

い　稲荷台古墳鉄剣銘（千葉県）

☆５世紀半ば，「王賜」銘あり。

う　**隅田八幡神社所蔵人物画像鏡銘（和歌山県）**

☆癸未年〔443年または503年〕。

え　**稲荷山古墳出土鉄剣銘（埼玉県**埼玉古墳群**）**

☆辛亥年〔471年〕，**「ワカタケル大王＝雄略天皇＝倭王武」**

お　**江田船山古墳出土鉄刀銘（熊本県）**

☆**「ワカタケル大王＝雄略天皇＝倭王武」**

か　岡田山１号墳出土大刀銘（島根県）

☆６世紀後半，「額田部臣」銘あり。

D　**儒教**・道教や医術・易術・暦法の伝来

６世紀に百済から**五経博士**や医・易・暦博士が渡来。

E　**仏教の伝来**

６世紀前半，**司馬達等**（鞍作鳥の祖父）ら一部の渡来人の間で私的に信仰されていた（『扶桑略記』より）が，公的には**百済の聖明王**から**欽明天皇**へと伝えられた。

☆**戊午説（538年，『上宮聖徳法王帝説』『元興寺縁起』）**と**壬申説（552年，『日本書紀』）**があり，前者の説が有力。

☆**蘇我稲目**（崇仏派・大臣）と**物部尾輿**（廃仏派・大連）の間で**崇仏論争**が勃発，対立は子の**蘇我馬子**と**物部守屋**に引き継がれる。

④日本文化の形成

A　**農耕儀礼**の成立

豊作を祈願する春の**祈年祭**，収穫を感謝する秋の**新嘗祭**（天皇即位の年は**大嘗祭**という）が行われる。

B　呪術的風習の進展

禊・**祓**（汚れをはらい災いを免れる），**太占の法**・亀卜（占い），**盟神探湯**（熱湯に手を入れる裁判）などが行われる。

C　神祇信仰の成立

あ　祭祀遺跡

大神神社（**奈良県**，**三輪山**をまつるわが国最古の神社），**宗像大社沖津宮**（**福岡県**，**沖ノ島**）など

い　神社建築

伊勢神宮〔**内宮**⇒**天照大神**，**外宮**⇒豊受大神〕（**三重県**，神明造），住吉大社（大阪府，住吉造），**出雲大社**⇒大国主神（**島根県**，大社造）など

D　氏神・産土神信仰の成立

E　**神話・伝承**の形成（６世紀半ば）

『**帝紀**』（神武天皇以降の大王の系譜），『**旧辞**』（宮廷の説話・伝承）の編纂。

---

⑤生活習慣の変化

A　住居

豪族は環濠・柵列をめぐらした**居館**を営み，支配・生活・倉庫群の場とする（**群馬県三ツ寺Ⅰ遺跡**など）。

☆庶民は竪穴住居・平地住居（炉にかわりカマドが発生）を中心とした，環濠のない集落を形成（**群馬県黒井峯遺跡**など）。

B　土器

弥生土器の系譜を引く**土師器**（赤褐色で日常生活用），**朝鮮半島の土器の系譜**を引く**須恵器**（灰色で祭祀用）が登場。

C　衣服など

豪族は絹の衣と乗馬ズボン風の袴（男），衣とスカート風の裳（女）を着用。庶民は麻を使用。

☆髪型は男性が美豆良，女性は髷を結うことが多かった。

２　大和時代Ⅰ―ヤマト政権の成立と発展―

①ヤマト政権〔ヤマト王権〕の成立

大王を中心とする畿内有力豪族の連合政権。遅くとも**４世紀中ごろまでに**，九州北部～中部地方を統一。５世紀には畿内の平野部で**前方後円墳**が巨大化，勢力範囲も九州中部～東北の一部まで拡大。

---

②４～５世紀の東アジア情勢

A　**中国**（五胡十六国から**南北朝時代**へ）

中国の周辺地域への支配力が弱体化，朝鮮半島・日本で国家形成の動きが進展する。

B　**朝鮮半島**

313年，**高句麗が楽浪郡を滅ぼし**て南下。翌年，帯方郡も滅ぼし“三韓”を圧迫。４世紀半ば，馬韓から**百済**，辰韓から**新羅**が統一国家を形成するが，弁韓は**加耶〔加羅〕諸国**とよばれ，小国分立の状態が続く。

☆『**日本書紀**』では加耶諸国を**任那**とよび，「日本府」が置かれたとする。

---

③ヤマト政権の対外政策

A　４世紀の日本―“空白の４世紀”―

４世紀末以降，先進技術と**鉄資源の獲得**を目的に，倭人が朝鮮半島に進出。

☆高句麗の首都であった丸都（現在の中国吉林省）にある**好太王〔広開土王〕碑**には，**辛卯の年（391年）**以降，日本が**高句麗**と交戦し敗れたと刻まれている。

☆乗馬の風習がなかった倭人は，戦いを通じ騎馬技術を学ぶことになった。

B　**５世紀の日本―中国の歴史書に復活―**

朝鮮半島南部における外交・軍事上の立場を有利にするため，ヤマト政権の大王である**倭の五王〔讃・珍・済・興・武〕**が，中国の**南朝**に遣使して冊封される。

☆**男子による世襲王権制が確立**。

☆『**宋書**』**倭国伝**には，**昇明二年〔478年〕**，**倭王武〔雄略天皇＝ワカタケル大王〕**が，**宋**の順帝に上表文を送ったことが記されている。

---

④支配体制の整備―５～６世紀―

A　**氏姓制度**

あ　**氏**

同属の擬制的な血縁・政治集団。**氏上**が**氏人**を統率。

い　**姓**

氏のヤマト政権内における世襲的な政治的地位を示す称号。大王が授ける。

☆**臣**(おもに大和地方の自立的有力豪族，葛城・平群・**蘇我**など)，**連**(特定の職務により大王に仕える有力豪族，**大伴**・**物部**・中臣など)，**君**(有力地方豪族，**筑紫**・毛野など)，**直**(地方豪族)など。

B　政治機構⇒**大王を中心とする畿内有力豪族の連合政権**

あ　中央

大王――**大臣**・**大連**(中央豪族)――**伴造**――伴――**部**(**品部**など)

☆奈良盆地南部には，大王宮・皇子宮，中央豪族の邸宅が集中していた。

い　地方

大王――**国造**・県主・稲置(地方豪族)

C　経済基盤⇒**私地私民制**・部民制

地方豪族は，支配権を保障される一方で，大王のもとに子女を舎人・采女として出仕させ，特産物を貢納するなどした。

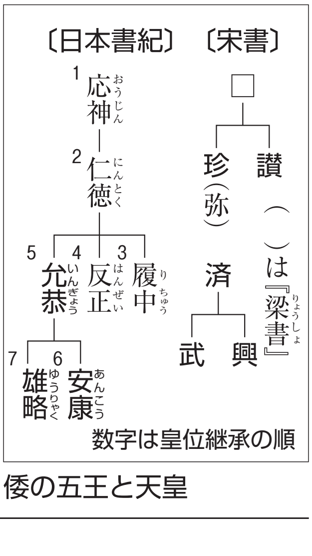
あ　朝廷

直轄地として**屯倉**(**田部**が耕作)，直属民として**名代**・**子代**の部を各地に設けた。

い　豪族

私有地として**田荘**，私有民として**部曲**を所有。

☆奴隷としてヤツコ〔奴婢〕も所有した。



倭の五王と天皇

⑤ヤマト政権の動揺

A　**朝鮮半島経営の衰退**⇒高句麗・新羅が強大化

512年　ヤマト政権が百済に任那四県を割譲

☆大連の大伴金村が主導。⇒のちこれが原因で失脚

527年　筑紫国造磐井，新羅と結びヤマト政権に反乱。

☆**継体天皇**，大連の物部麁鹿火に命じ鎮圧させる。

562年　新羅により加耶諸国滅亡

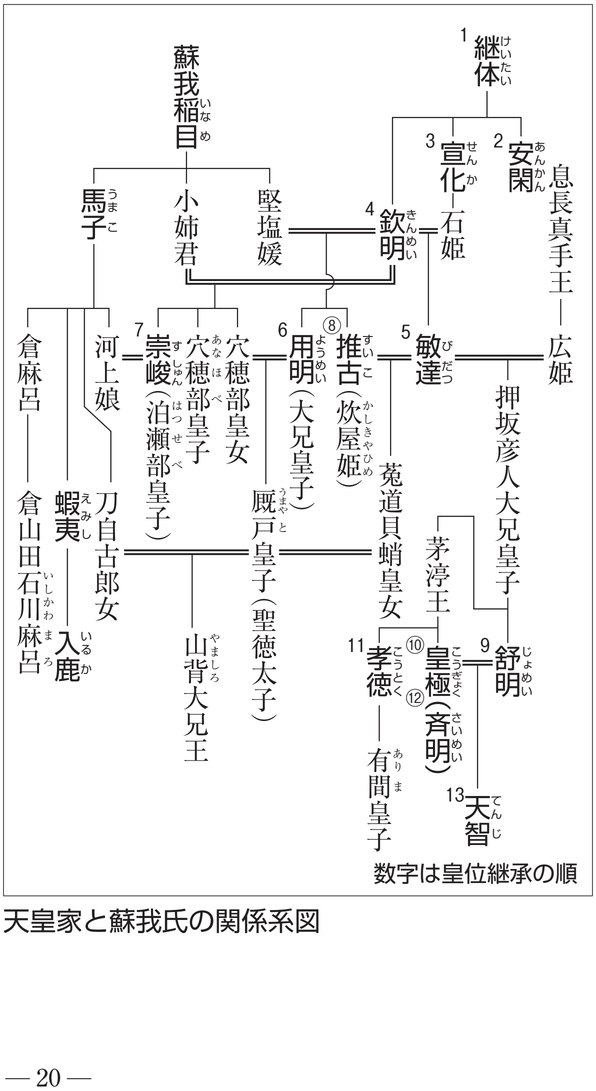
☆ヤマト政権は朝鮮半島経営の拠点を失う。

B　**蘇我氏の独裁**⇒三蔵〔斎蔵・内蔵・大蔵〕を管理，渡来人を組織化。

587年　蘇我馬子（大臣），物部守屋（大連）を滅ぼす。

592年　蘇我馬子，**崇峻天皇**を暗殺し**推古天皇（初の女帝）**を擁立。

☆二人は蘇我馬子の甥と姪。



天皇家と蘇我氏の関係系図

〈***Note***〉

第２講　確認問題

1　ヤマト政権の象徴とされる古墳の形式とは？

①方墳　②円墳　③前方後方墳　④前方後円墳

2　「卑弥呼の墓」という説もある，奈良県の纒向遺跡を代表する巨大前方後円墳とは？

①椿井大塚山古墳　②箸墓古墳　③黒塚古墳　④造山古墳

3　渡来人のうち，西文氏の祖で漢字を伝えたとされる人物とは？

①王仁　②阿知使主　③弓月君　④司馬達等

4　ワカタケル大王＝雄略天皇＝倭王武の名が刻まれた鉄剣が発見された場所は？

①石上神宮（奈良県）　②隅田八幡神社（和歌山県）
③稲荷山古墳（埼玉県）　④江田船山古墳（熊本県）

5　仏教伝来時の大王〔天皇〕とは？

①仁徳天皇　②応神天皇　③継体天皇　④欽明天皇

6　熱湯に手を入れる原始的裁判法を何というか？

①禊　②祓　③太占の法　④盟神探湯

7　４世紀半ば，馬韓から出て統一国家となった朝鮮半島の国とは？

①高句麗　②百済　③新羅　④加耶〔加羅〕

8　４世紀末以降，倭が朝鮮半島に進出したおもな目的とは？

①鉄資源の獲得　　②騎馬技術の獲得
③冊封体制からの離脱　　④貿易利潤の独占

9　『宋書』などにある「倭の五王」のうち，『日本書紀』で雄略天皇の兄の安康天皇とされる人物とは？

①讃　②珍　③済　④興

10　倭王武が中国南朝の宋の順帝に上表文を送った年とは？

①391年　②478年　③512年　④527年

11　ヤマト政権の諸豪族の私有地を何というか？

①屯倉　②田荘　③田部　④品部

12　527年に新羅と結びヤマト政権に反乱を起こした人物とは？

①筑紫国造磐井　②大伴金村　③物部守屋　④蘇我稲目

解答

1	④	2	②	3	①	4	③	5	④
6	④	7	②	8	①	9	④	10	②
11	②	12	①						